

まっすぐ、あなたへ。



埼玉縣信用金庫

経営計画（2023-2025）

～5つのつなぐ～

はじめに

平素は埼玉縣信用金庫に格別のご愛顧とお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。
はじめに、2024年元日に発生いたしました「能登半島地震」にて、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申しあげます。

当金庫は、2023年度より「地域の持続可能性を支えていく3年間」と位置づける、新たな中期経営計画「経営計画（2023-2025）～5つのつなぐ～」を始動させております。

本計画を通じて、想い・まち・販路・事業・知財という5つの分野を、当金庫がつないでいくことで、地域の持続可能性を支え、地域の発展に貢献してまいります。

同時に「5つのつなぐ」を支える基盤となる、多様かつ活力ある職員が活躍できる環境の整備や個の力を引き出す組織風土の醸成、デジタル技術を起点とした業務再構築など、「人財基盤」と「経営基盤」の構築、強化に向けた取組みも進めております。

将来の予測が困難な環境は継続しておりますが、「埼玉に生きる人誰もがいきいきと活躍できる社会」の実現に向け、当金庫が地域の皆さまにとって最良のパートナーとなれるよう邁進してまいります。

新中期経営計画コンセプト

- 5つの「つなぐ」により地域の持続可能性を支えていく



5つの「つなぐ」の意図および具体的施策

5つの「つなぐ」		具体的施策
「 想い 」	安心して将来に備えたい、その想いをつなぐ	相続対策、不動産マッチング支援
「 まち 」	地域住民、事業者、来訪者をまちでつなぐ	創業支援、自治体コンサルティング、まちづくりファンド（空き店舗対策）
「 販路 」	ビジネスチャンスをつなぐ	ビジネスフェア、ビジネスマッチング、地域商社機能、ブランディング支援、しんきん圏央道アライアンス
「 事業 」	事業をつなぐ 若手経営者の人脈をつなぐ	事業承継、M&A、若手経営塾、再生支援（シンジケートローン）
「 知財 」	産・学・官をつなぐ 持続可能な社会を将来の世代につなぐ	再生可能エネルギー（地域脱炭素）、知財活用支援、国・自治体の支援機関、補助金支援、ソリューション提供

5つの「つなぐ」を支える2つの基盤

人財基盤 ～職員・さいしんの活性化～

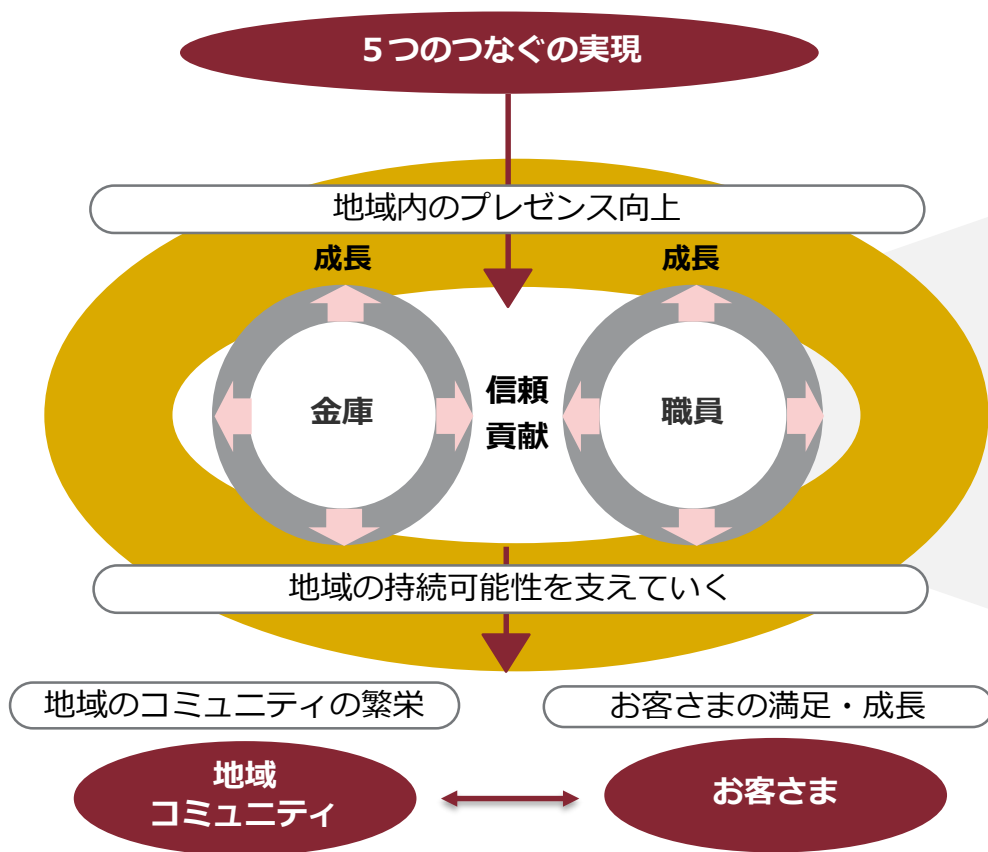
- 自己成長
- 個の力を引き出す組織風土の醸成
- 多様かつ活力ある職員が活躍できる環境の整備

経営基盤 ～全金庫改革～

- 業務再構築【BPR・デジタル化】
- 組織・店舗ネットワーク再編
- コンプライアンス

人財基盤 ～ 職員・さいしんの活性化 ～

- 個人の成長と当金庫の成長を一致させ、個人および金庫が直接・間接的に「5つのつなぐ」を実践することで、**お客さまの満足・成長と地域の繁栄の好循環を形成**する



人財基盤～職員・さいしんの活性化

1. 自己成長
2. 個の力を引き出す組織風土の醸成
3. 多様かつ活力ある職員が活躍できる環境の整備

経営基盤 ～ 事業再構築、組織・店舗ネットワーク再編 ～

- デジタル技術を活用した業務改革を実施することで業務再構築し、営業人員を創出することで営業力の強化を実現する

改革プロセス	改革カテゴリ	実施事項
業務再構築	業務改革	・ 業務の取捨選択と業務フローの変革（デジタル化視野）
	DX	・ デジタル技術活用による集約・効率化
営業人員創出	業務改革	・ 本部人員の削減（企画職・専門職に特化。組織再編含む）
	DX	・ 営業店窓口0線完結、非対面戦略強化
営業力強化	営業戦略	・ 戦略分野特定 + 本部人員投入 + エリア毎の営業戦略
	DX	・ 営業時間の創出、営業能力の標準化
	組織・店舗NW再編	・ 組織、店舗ネットワーク再編による営業支援体制の充実化

経営基盤 ～ コンプライアンス

コンプライアンス・リスク管理の強化

法令等（社会規範・ 道徳）の遵守	お客さま本位の業務運営	顧客保護等の管理
不祥事件未然防止の徹底	誠実・丁寧・迅速な 対応の実践	顧客説明管理態勢の強化
マネロン・テロ資金供与・ 拡散金融 リスク管理態勢の強化	安心・安全・信頼感の ある対応の強化	顧客サポート等 管理態勢の強化
コンプライアンス 意識の浸透	最適な商品・サービス・ 情報提供の強化	顧客情報管理の徹底と 情報漏洩等の防止
風通しの良い 企業文化の醸成	市場の公正性の確保	利益相反管理の徹底